

府県名		京都府	和歌山県	奈良県
支援拠点機関名		京都府リハビリテーション支援センター	和歌山県子ども・女性・障害者相談センター	奈良県高次脳機能障害支援センター
支援コーディネーター 氏名 職種 常勤 or 非常勤 専任 or 兼務		・大戸 淳志（臨床心理士・常勤・専任） ・久保原 寛子（社会福祉士・非常勤（週 3 日）・専任）	・川崎 美穂（作業療法士・常勤・兼務） ・柴田 理子（社会福祉士・非常勤・専任）	・河地 睦美（社会福祉士・常勤・専任） ・植村 紀子（精神保健福祉士・常勤・専任）
庁内外支援体制整備関連会議の立ち上げについて	庁外（会議名及び参加機関名）	京都府高次脳機能障害者支援プラン（アクションプラン）推進会議 ・委員 10 名（学識 2、リハ施設 1、医療 1、社会的リハ 1、当事者家族 1、相談支援（福祉）1、行政 3） 平成 26 年 3 月予定	和歌山県高次脳機能障害支援普及事業検討委員会 （委員職種 計 9 名）医師（2 名）・リハビリテーション施設関係（1 名）・当事者支援ネットワーク関係者（1 名）・就労支援関係者（1 名）・行政関係者（4 名） 第 1 回 7 月 7 日開催 第 2 回 3 月頃開催予定	平成 25 年度高次脳機能障害支援体制検討委員会 （医療関係者、労働局、障害者職業センター、当事者団体、支援拠点機関、県関係課）
	庁内（会議名及び参加職種・組織名など）	アクションプラン推進に係る関係者検討会 ・府立心身障害者福祉センター、同附属リハビリテーション病院 ・リハビリテーション支援センター（支援拠点） ・障害者支援課	—	自立訓練センターとの調整会議（月 1 回・支援センターと訓練担当者・生活支援員）
相談件数 来院・来所 電話 メール・書簡 その他（訪問・出張・同行など）	当事者・家族	29 件 199 件 5 件 25 件 計 258 件	24 件 293 件 99 件 161 件 計 577 件	226 件 401 件 60 件 7 件 計 694 件
	関係機関	3 件 257 件 50 件 12 件 計 322 件	25 件 388 件 72 件 115 件 計 600 件	8 件 793 件 40 件 2 件 計 843 件
研修会・セミナー等の開催状況及び講師派遣 研修会名・回数のみ記入。詳細は後述		研修会開催 3 回 ・参加協力 2 回 講師派遣 5 回	研修会 3 回 講師派遣 9 回	研修会 3 回 講師派遣 3 回
府県内の地域支援ネットワークの整備状況		京都府高次脳機能障害支援ネットワーク会議 ・医療、福祉、介護、行政等を対象 ・3 回開催（京都府南部） （京都市内、京都府北部）（予定）	圏域における支援ネットワーク構築のための検討会議を実施する	小児高次脳機能障害対応医療機関実態調査 支援者向け研修会（相談支援機関、障害福祉サービス事業所）の開催 圏域単位の事例検討会（1 圏域）
拠点機関における訓練の提供状況	医療機関	京都府立医科大学附属病院（協力医療機関）において神経心理学検査、認知リハ等を実施 検査 50 件 リハ 28 件	—	嘱託医による月 4 回の診察を実施しており、検査・診断をおこなっている。その後、主治医へ結果の報告をし、継続した治療・リハビリ等を依頼。
	福祉・就労支援機関	特になし	訓練の提供はしていない	併設の自立訓練センターの生活訓練の情報提供をおこなう。
就労支援について	どのような経路で就労支援を行っていますか	障害者職業センター（職業評価・職業準備支援等）へと繋ぎ、ハローワークや障害者就業・生活支援センター等とも連携して支援を行っている。福祉的就労の場合は、地域の障害者地域生活支援センター、就労継続支援（A 型・B 型）事業所等へと繋ぎ、継続的に連携して支援を行っている。 就労出来た方に対しては、必要に応じて、事業所との関係者会議等を実施し助言を行う。また、職場への訪問を行い助言を行う。	ハローワーク、障害者職業センター、就業・生活支援センター等と連携を取って行っている。	自立訓練センター利用者の退所後の支援として、就労支援施設の紹介 診断後、就労支援施設の紹介・連携 診断後、障害者就業・生活支援センターの紹介・連携 診断後、障害者職業センターの紹介・連携
	就労支援を行うにあたっての問題点について	当事者の障害認識の程度。障害に対する対応動作がどれくらい実施可能か。 当事者からの支援ニーズと就労先での実態が大きく異なる場合の対応。	就労先の障害の理解が不十分	市町村、就労支援施設、生活訓練施設間の連携と連絡調整 本人の病識の欠如 （一般就労・復職の場合）会社側の意向
	就労支援を行うにあたっての問題点への対策についてどのようにされていますか	必要な関係機関への繋ぎ。その後の連携・情報の共有。 関係者とのケースカンファレンスの実施。 面接の積み重ね。	研修会等の働きかけを行ったり、本人に同行し、障害の説明等を行う等	関係機関との連絡調整 支援担当者会議、本人・家族も含めた支援会議の開催

府県名	京都府	和歌山県	奈良県
支援拠点機関名	京都府リハビリテーション支援センター	和歌山県子ども・女性・障害者相談センター	奈良県高次脳機能障害支援センター
その他（広報・啓発や独自に取り組んでいる事業など）	高次脳機能障害者グループワーク前期（全15回） 訪問支援事業 高次脳機能障害者グループワーク後期（全15回予定）	リーフレットの配布	奈良高次脳機能障害リハビリテーション講習会実行委員会主催「高次脳機能障害研修会」（平成25年7月21日）開催への協力 「高次脳機能障害の理解・支援の充実のために～病気や事故の後で、こんな症状はありませんか？～」パンフレットを改訂・増刷（4000部）
研究発表（論文・学会発表・著書など） 件数のみ記入。詳細は別添資料3参照	論文発表 0件 学会発表 0件 著書 0件	論文発表 0件 学会発表 0件 著書 0件	論文発表 0件 学会発表 0件 著書 0件
知的財産権の出願・登録状況 健康危険情報	なし	なし	なし
中学生・高校生に対する取り組み	ケースの有無「有」ならば評価・診断について 訓練について 連携機関について 研究会・勉強会等の実施状況 なし	「有」 和医大リハビリテーション科 Dr 和医大リハビリテーション科 OT,ST 小学校 なし	有 奈良県高次脳機能障害支援センター 嘱託医 - - なし
今後に向けての課題	平成23年度策定の京都府高次脳機能障害者支援プラン（アクションプラン）の推進	各圏域での支援ネットワークの構築	高次脳機能障害の普及・啓発活動（研修会の開催） 地域の支援機関との連携を強化

近畿ブロック 高次脳機能障がい者支援体制の整備状況（府県）（平成 25 年 9 月末現在）

府県名		滋賀県	兵庫県	大阪府
支援拠点機関名		滋賀県高次脳機能障害支援センター	兵庫県立総合リハビリテーションセンター	障がい者医療・リハビリテーションセンター
支援コーディネーター 氏名 職種 常勤 or 非常勤 専任 or 兼務		・田邊 陽子（精神保健福祉士・常勤・専任） ・小西川 梨紗（臨床心理士・非常勤・専任）	・藤坂 幸広（社会福祉士・精神保健福祉士・常勤・専任） ・長谷 聡美（社会福祉士・精神保健福祉士・常勤・専任） ・鉢田 敬子（介護福祉士・介護支援専門員・常勤・兼務）	大阪府障がい者自立相談支援センター ・西野 朋子（CW・常勤・専任） ・鈴木 明善（CW・再任用） ・天野 隆夫（CW・再任用） 大阪府立急性期・総合医療センター ・岡本 みどり（MSW・常勤・兼務） 大阪府立障がい者自立センター ・山下 久美（CaW・常勤・兼務） ・安部 紫（心理・常勤・兼務）
庁内外支援体制整備関連会議の立ち上げについて	庁外（会議名及び参加機関名）	平成 25 年度高次脳機能障害支援センター連絡協議会（医療機関・保健所・地域生活支援センター・障害者職業センター・行政・支援施設・支援拠点機関・精神保健福祉センター等） 1 回 高次脳機能障害支援専門チーム会議（医療機関、就労支援事業所、生活支援センター、支援施設、精神保健福祉センター、行政など）	兵庫県障害者自立支援連絡協議会相談支援部会 障害者等相談支援コーディネート事業圏域コーディネーター連絡協議会 神戸市西区障害者自立支援協議会 県内圏域ごとの自立支援協議会	平成 25 年度 第 1 回大阪府高次脳機能障がい相談支援体制連携調整部会 ・部会（ワーキンググループを除く）委員は 25 名以内・任期は 2 年 ・ワーキンググループ委員・ワーキング長が承認され、検討事項への意見助言等を貰った * 委員 10 名（12 名中）オブザーバー 4 名（：委員会の委員 5 名中）事務局 4 名（：委員会の委員 4 名中）その他の事務局等名出席 平成 25 年度 第 2 回大阪府高次脳機能障がい相談支援体制連携調整部会（予定） * 以下のワーキンググループは、大阪府高次脳機能障がい相談支援体制連携調整部会の下部組織 平成 25 年度第 1 回高次脳機能障がい支援体制整備検討ワーキンググループ ・ワーキンググループについて（委員・ワーキング長確認、ワーキンググループ運営） * 委員 8 名出席（9 名中）事務局等 12 名 平成 25 年度第 2 回高次脳機能障がい支援体制整備検討ワーキンググループ * 委員 9 名全員出席。事務局等 13 名 平成 25 年度第 3 回高次脳機能障がい支援体制整備検討ワーキンググループ（予定）
	庁内（会議名及び参加職種・組織名など）	相談モール連携会議 1/2w（発達障害者支援センター、地域生活定着支援センター、更生相談所、ひきこもり支援センター、精神保健福祉センター）	総合リハ高次脳機能障害支援推進検討委員会 総合リハ高次脳機能障害支援推進ワーキング部会 （医師・看護師・心理士・OT・ST・MSW・就労支援・生活訓練・研修専門員・支援 CO）	運営協議会 ・コーディネーター会議（月 2 回・障がい者医療・リハビリテーションセンターの 3 機関の支援コーディネーター等（CW・MSW・CaW・心理等）が参加。うち月 1 回は堺市のコーディネーターも参加） ・高次脳支援チーム会議（月 1 回・本庁と障がい者医療・リハビリテーションセンター 3 機関の実務責任者（CW・心理・CaW）が参加）
相談件数 来院・来所 電話 メール・書簡 その他（訪問・出張・同行など）	当事者・家族 関係機関	91 件 223 件 19 件 72 件 計 405 件 22 件 561 件 25 件 91 件 計 699 件	184 件 256 件 80 件 18 件 計 538 件 48 件 585 件 24 件 7 件 計 664 件	271 件 530 件 62 件 11 件 計 874 件 744 件 636 件 51 件 4 件 計 1435 件
研修会・セミナー等の開催状況及び講師派遣 研修会名・回数のみ記入。 詳細は後述		研修会開催 2 回 講師派遣 5 回	研修会 3 回 講師派遣 0 回	研修会 6 回 講師派遣 4 回
府県内の地域支援ネットワークの整備状況		昨年度に計画したネットワークの勉強会の内、継続的に実施している 1 圏域（7 圏域中）にてリハビリテーションセンターの協力を得て、地域支援機関と協働してネットワーク構築の展開を実施。今後、全圏域に展開していく予定。 「高次脳機能障害支援専門チーム」の会議を定期的実施し、地域の困難事例に対しケース検討を実施。	県内圏域ごとで開催される自立支援協議会や圏域毎の連絡会議に出向き、高次脳機能障害支援の課題点の集約と各圏域独自のネットワーク構築の検討。 普及研修等の参加事業所に対して、高次脳機能障害者の受け入れや支援協力を依頼。	平成 25 年度知事重点事業として、地支援ネットワーク体制整備事業。 ・大阪府が主催していたネットワーク会議を、二次医療圏域ごとに機関に委託し、委託機関が主催できるように大阪府が支援する形に変更 ・既に委託している堺市圏域を含め、8 圏域のうち、5 圏域で委託済 ・委託の済んでいない 3 圏域は、より主体的な運営をすすめることができるよう働きかける

府県名		滋賀県	兵庫県	大阪府
支援拠点機関名		滋賀県高次脳機能障害支援センター	兵庫県立総合リハビリテーションセンター	障がい者医療・リハビリテーションセンター
拠点機関における訓練の提供状況	医療機関	入院・外来患者において、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、臨床心理士がそれぞれで個別対応のリハビリを実施。あわせて、それぞれの職種と医師がチーム体制をとって集団プログラムを実施。	リハビリテーション中央病院（OT、ST、心理）	大阪府立急性期・総合医療センターでのPT・OT・STによる入院リハビリ 障がい者医療・リハビリテーションセンターにおいてOTによる外来認知訓練
	福祉・就労支援機関	むれやま荘における自立訓練 ・自立訓練（生活訓練：定員18名） 主に高次脳機能障害診断基準該当者生活訓練プログラムを実施 ・就労移行支援（定員：12名） ・自立訓練（機能訓練：定員30名） 身体障害を重複されている利用者を含め、利用者全体の60%近くが高次脳機能障がい者であり、個々に対応したプログラムを提供している。	障害者支援施設 ・自立生活訓練センター（機能訓練、生活訓練、高次脳機能プログラム） ・あけぼのの家（就労移行支援、就労継続支援B型） 障害者能力開発施設 ・職業評価 ・職業訓練（情報系、生産系）	大阪府立障がい者自立センターにおける自立訓練 ・自立訓練（生活訓練：定員30名） 高次脳機能障がい者対象 ・自立訓練（機能訓練：定員60名） 利用者の81%が高次脳機能障がい者であり、対応したプログラムを提供 平成19年4月1日～平成25年9月までの利用者は生活訓練239名、機能訓練288名 生活訓練利用者の退所後の日中活動は、復職・復学18%、福祉的就労等46%、デイ等8%、入院等3%
就労支援について	どのような経路で就労支援を行っていますか	各地域のハローワーク・働き暮らし応援センターと連携し、障害者職業センターの機能を使いながらチームで支援している。	ハローワーク、障害者職業センター、障害者就業・生活支援センター、障害者就労推進センター、就労移行支援事業等の支援機関と連携して支援している。 総合リハビリテーションセンター内の能力開発施設が、県委託事業のビジネスコミュニケーション科（高次脳機能障害対象）を実施予定。	障がい者就業・生活支援センター、障害者職業センター、ハローワーク、就労移行支援事業所等と連携しながら就労支援を進めている。
	就労支援を行うにあたっての問題点について	急性期病院にて、高次脳機能障害の診断は行われているものの、評価が行われておらず、本人の障害特性が不明確なケースが多い。また、経済的な状況と本人の病態失認等があり、本人・家族が受傷・発症前の仕事と同様の給与・職種を希望されることが起こりやすい。このような場合は、現時点で可能な職業のマッチングと本人・家族が希望する職業のすり合わせに時間がかかり課題となっている。 軽度高次脳機能障害の場合は、障害者手帳の申請をおこなうことが困難（医療機関において診断書記載が出来ないと判断されるなど）な場合も多く、ご本人の出来ることが多いものの、障害者雇用枠での就労支援が難しい。	希望する職種と受傷後の能力の違い（障害認識） 復職に際して会社側の障害理解や環境調整等の配慮（会社に支援が入れないケース） 就労移行支援の利用期限	本人、家族の障がい認識、障がい者手帳の取得等により、一般枠での就労か障がい枠での就労を目指すかの分かれ道となる。また、復職・新規就労するにあたって、会社の人事担当者や産業医、或いは間に入る関係機関の職員が、本人の障がいや配慮方法等の理解が、就労継続へのポイントとなる。
	就労支援を行うにあたっての問題点への対策についてどのようにされていますか	時間をかけて、継続的にチームアプローチを行い、支援の切れ目をなくすような本人・家族の気持ちに寄り添った支援をに心がける。 ご本人が障害者雇用枠を希望し、かつ手帳申請も希望する場合は、専門医につなぎ手帳を取得する方向で支援する。	生活訓練から就労訓練と段階的かつ時間をかけ、本人・家族の障害理解も含めて支援を検討している。 就労訓練事業所や会社担当者に主治医、セラピストから障害の説明。	高次脳機能障がいについての本人、家族への説明を医師にお願いしたり、日常生活、社会生活での困ったことへの気づきを促し、障がいの正しい理解につながるよう支援している。 会社の担当者（産業医含む）や、会社を支援する就労の関係機関の担当者、医師から説明・診断書作成等により、正しい理解を進めるよう支援している。

府県名		滋賀県	兵庫県	大阪府
支援拠点機関名		滋賀県高次脳機能障害支援センター	兵庫県立総合リハビリテーションセンター	障がい者医療・リハビリテーションセンター
その他（広報・啓発や独自に取り組んでいる事業など）			パンフレット、ホームページの見直し予定	府民向け、医療機関向け啓発パンフレットを研修等で随時配布 A4裏表カラー1枚ものの啓発ちらしを研修等で随時配布 ホームページにて資源マップを掲載 「大阪高次脳研究会」を共催（月1回） 「大阪高次脳機能障がい就労支援勉強会」を共催（年3回） 当事者・家族を対象として急総C内情報交換会を開催（月1回第3水曜日） ワーキングにて、支援ハンドブック（MSW、役所窓口、就業・生活支援センターなど繋ぐ役割の相談支援者向け）を作成予定 ワーキングにて、既に自動車運転免許を取得している高次脳機能障がい者の運転再開時に資する評価の仕組みづくり（モデル試行） 平成25年度の知事重点事業として地域支援ネットワーク体制整備事業を委託実施。二次医療圏域で高次脳機能障がい支援に先進的に取り組んでいる医療法人や社会福祉法人、自治体等を中核的拠点として定め地域支援ネットワークの自立的運営の構築を図る。 昨年度開設した堺市圏域の高次脳機能障がい支援拠点機関が研修会等を実施。
研究発表（論文・学会発表・著書など） 件数のみ記入。詳細は別添資料3参照		論文発表 0 件 学会発表 0 件 著書 0 件	論文発表 0 件 学会発表 0 件 著書 0 件	論文発表 1 件 学会発表 4 件 著書 0 件
知的財産権の出願・登録状況 健康危険情報		なし	なし	なし
中学生・高校生に対する取り組み	ケースの有無「有」ならば 評価・診断 について 訓練について 連携機関について	有 診断：滋賀県成人病センター・主治医 評価：滋賀県成人病センター・スクールカウンセラー・クリニック - 学校・教育センター・保健所・医療機関・千葉県リハビリテーションセンター・生活支援センター・児童デイサービス・市障害福祉課	・評価・診断の受け入れは難しい。 ・自立生活訓練センターでこれまで若干名、こども家庭センターと相談の上、訓練を受け入れたことがある。 ・学校や障害者地域生活支援センター等と連携している。	有 大阪府立急性期・総合医療センター・主治医 大阪府立急性期・総合医療センター・かかりつけの病院 大阪府立障がい者自立センターでの訓練（高校生以上） 学校・教育委員会と連携 他県支援拠点機関と連携（他府県連携） 新規・継続ケースともに、相談があれば随時対応
	研修会・勉強会等の実施状況	なし	なし	なし
今後に向けての課題		地域で継続的に対応できる体制整備 医療・福祉だけでなく教育や企業、司法領域との連携(垣根を越えた啓発・周知) 診断書作成が可能な病院の要請（協力医療機関の要請） 重度高次脳機能障害者への支援	支援コーディネーターの安定した配置 診断及びリハビリの受け入れ可能な医療機関、施設の協力 県内の各圏域ごとの実態把握、圏域独自の支援連携体制の検討	政令指定都市（大阪市・堺市）との連携 ・堺市圏域における「健康福祉プラザ」との協力、連携 ネットワークの委託機関の充実への協力支援 ネットワーク委託がされていない圏域への働きかけ 各圏域内の診断・リハビリ等可能な医療機関の充実 各圏域内の相談支援体制および人材育成の充実 各圏域内で生活訓練・就労支援等を提供できる事業所の充実

近畿ブロック 高次脳機能障がい者支援体制整備状況（政令市）（平成 25 年 9 月現在）

市名	京都市	神戸市	大阪市	堺市
所管課	京都市保健福祉局障害保健福祉推進室	神戸市保健福祉局障害福祉課・更正相談所・自立支援課	大阪市福祉局障がい者施策部障がい福祉課	健康福祉局 障害福祉部 障害施策推進課 健康福祉局 健康部 精神保健課
担当者氏名（職種）	久世 晴香 （精神保健福祉相談員）		川崎 治郎（事務職）	【障】八木 一夫（事務職員） 【精】遠山 敦実（事務職員/精神保健福祉相談員）
取り組み状況	独自の取り組み	未実施	特に実施していません	健康福祉プラザ内に設置の生活リハビリテーションセンターを中心に支援及び普及啓発を実施 支援ネットワーク会議の開催（3回）、および支援コーディネーター等の市及び各区自立支援協議会への参加（37回） 同センターのコーディネーターによる専門的な相談支援を実施すると共に、各種研修や勉強会、ネットワーク会議等の体制整備や普及啓発を実施。 「支援コーディネーター全国会議」「高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会」「高次脳機能障害支援事業関係職員研修会」に出席。 高次脳機能障害支援普及啓発チラシ作成と市内関係機関への配布
	府県との連携状況	京都府主催の講演会等への協力参加や高次脳機能障害者支援に対するネットワーク会議への協力参加。	兵庫県の支援拠点機関である県立総合リハビリテーションセンターと連携して実施	大阪府高次脳機能障がい相談支援体制連携調整委員会、高次脳機能障がい支援ネットワーク近畿ブロック連絡協議会へ出席。 障がい者医療・リハビリテーションセンター（大阪府の支援拠点機関）コーディネーター月例会議へ出席 高次脳機能障がい支援普及事業受託。 大阪府高次脳機能障がい支援体制整備検討ワーキンググループ（自動車運転評価事業実施、支援ハンドブック作成）への協力 その他生活リハビリテーションセンターのコーディネーターを中心とした日常的な連携等。
	訓練提供状況	未実施		生活リハビリテーションセンターにおいて、自立訓練を実施 自立訓練（機能訓練） 900 自立訓練（生活訓練） 766回
	その他			市内当事者会（堺脳損傷協会）による研修会に係る周知及び運営協力等。
就労支援について	どのような経路で就労支援を行っていますか	未実施	神戸市障害者就労推進センター及び地域障害者就労推進センター（東部・北部・西部）を設置し、地域の労働・福祉・保健・教育機関等と連携を図りながら、就労相談、職場開拓、職場定着支援などを幅広く実施している。	健康福祉プラザ内に設置の生活リハビリテーションセンターを中心とした、大阪障害者職業センター、市内就労移行支援事業所等との連携ならびにプラザ内での連携（障害者就業・生活支援センター） 事業主への普及啓発活動
	就労支援を行うにあたっての問題点について		障害特性（記憶力の低下、感情のコントロール等）に起因する職業生活上の困難さ。外見上、障害が分かりにくいことによる企業等理解の得にくさ。本人の障害受容が進まないことによる支援機関へのつながりにくさ等	そもそもの部分として、就労支援以前の生活支援の不足。 専門的な支援を行える機関や事業所の不足。 事業主への普及啓発の不足 就労支援ツールやノウハウの不足
	就労支援を行うにあたっての問題点への対策についてどのようにされていますか		記憶補助ツール（メモ、タイマー等）の活用。ジョブコーチ支援、あんしんすこやかセンター（介護保険）との連携・生活面での見守り	就労をテーマとした支援普及研修会の開催（1回）

所管課	京都市保健福祉局障害保健福祉推進室	神戸市保健福祉局障害福祉課・更正相談所・自立支援課	大阪市福祉局障がい者施策部障がい福祉課	健康福祉局 障害福祉部 障害施策推進課 健康福祉局 健康部 精神保健課
その他 H25 年度以降の予定	未定 (京都府が専門相談窓口を設けており、本市としては専門相談等を設けていないが、各保健センター、こころの健康増進センター、身体障害者リハビリテーションセンター、障害者地域生活支援センター等において個別での相談支援を行っており、引き続き同体制で実施予定。)	兵庫県と連携しながら適切に進めていく		生活リハビリテーションセンターを中心に、平成25年度実施内容について継続実施等。

近畿ブロック 研修会・セミナー等の実施状況（平成 25 年 9 月末現在）

研修会・セミナー名	対象者	開催日	出席者数	講演内容（講演題目及び講演者）
京都府				
第 6 回京都府高次脳機能障害者・家族交流会	当事者、家族及び支援関係者	平成 25 年 7 月 22 日	42 名	当事者および家族の体験談など 当事者、家族による小グループに分かれた交流会
第 2 回京都府高次脳機能障害医師研修会	医療機関従事者	未定		
京都府高次脳機能障害訪問支援者養成研修会	支援関係者	未定		
（協力）第 11 回脳外傷・高次脳機能障害 リハビリテーション講習会（北部）	一般府民	平成 25 年 11 月 17 日		
（協力）第 12 回脳外傷・高次脳機能障害 リハビリテーション講習会（南部）	一般府民	平成 26 年 1 月 26 日		
和歌山県				
高次脳機能障害支援普及事業関係職員等研修会	医療・福祉・介護従事者、当事者家族等	平成 25 年 10 月 12 日	100 名	「ともに学びながら歩んでいく～高次脳機能障害の地域生活支援」 障害者支援施設工房「羅針盤」施設長 山河 正裕 氏 「高次脳機能障害のリハビリテーションについて」 独立行政法人国立成育医療研究センター リハビリテーション科医長、発達評価センター長 橋本 圭司 氏
高次脳機能障害支援地域支援ネットワーク研修会	医療・保健・福祉・介護従事者等関係機関担当者	平成 25 年 11 月 6 日	45 名	「高次脳機能障害の地域支援ネットワークについて」及び「事例検討会」 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 地域医療福祉学分野教授 白山 靖彦 氏
高次脳機能障害支援地域支援ネットワーク研修会	医療・保健・福祉・介護従事者等関係機関担当者	平成 25 年 12 月 4 日		「高次脳機能障害の地域支援ネットワークについて」及び「事例検討会」 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 地域医療福祉学分野教授 白山 靖彦 氏
高次脳機能障害支援地域支援ネットワーク研修会	医療・保健・福祉・介護従事者等関係機関担当者	平成 26 年 1 月 22 日		「高次脳機能障害の地域支援ネットワークについて」及び「事例検討会」 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 地域医療福祉学分野教授 白山 靖彦 氏
奈良県				
平成 25 年度 第 1 回 高次脳機能障害研修会	当事者・家族・関係機関等	平成 25 年 10 月 12 日	約 100 名	「高次脳機能障害に対するチーム医療」 (奈良県高次脳機能障害支援センター嘱託医 平林 秀裕 医師) 「退院後の支援について～生活リハビリの大切さを知ろう～」 (岐阜医療科学大学 保健科学部 看護学科 教授 阿部 順子 氏)
平成 25 年度 第 2 回 高次脳機能障害研修会	相談支援機関職員	平成 25 年 11 月 26 日		「高次脳機能障害者への実践的アプローチ」 NPO 法人地域活動支援センターぶろぼの 広域事業部長 小島 秀一 氏)
平成 25 年度 第 3 回 高次脳機能障害研修会	福祉サービス事業所職員	平成 26 年 2 月 18 日		「高次脳機能障害者への実践的アプローチ」 NPO 法人地域活動支援センターぶろぼの 広域事業部長 小島 秀一 氏)
滋賀県				
高次脳機能障害研修会研修会	医療関係者・相談支援者	平成 25 年 7 月 21 日	90 名	「高次脳機能障害とは？」 ～リハ科・精神科ではどのような対応が？～ 滋賀県立成人病センター リハビリテーション科 川上 寿一 氏 京都大学名誉教授 大東 祥孝 氏
高次脳機能障害研修会研修会	医療関係者・相談支援者	平成 25 年 12 月 7 日		『ちょうどいい働き方・暮らし方～10 年後の彼を見つめた就労支援～』 東近江圏域働き・暮らし応援センター Tekito-センター長 野々村 光子 氏 『“この街での暮らし”をささえる～高次脳機能障害者の地域生活～』 さわらび作業所施設長 大槻 敏明 氏
兵庫県				
平成 25 年度兵庫県高次脳機能障害支援普及研修	行政関係職員 医療関係職員 障害福祉事業所職員 介護保険事業職員等	平成 25 年 9 月 27 日	93 名	・高次脳機能障害者の社会的リハビリテーションについて ・高次脳機能障害者への支援の実際と対応方法（自動車運転試乗・習熟訓練を含む）
平成 25 年度兵庫県高次脳機能障害支援普及研修（予定）	行政関係職員 医療関係職員 障害福祉事業所職員 介護保険事業職員等	平成 25 年 12 月 13 日 平成 25 年 12 月 14 日	40 名	

研修会・セミナー名	対象者	開催日	出席者数	講演内容（講演題目及び講演者）
大阪府				
高次脳機能障がい 支援関係機関職員等研修会 ()	支援関係機関等職員	平成 25 年 6 月 6 日	234 名 参加者 220 名 講師 1 名 主催者 13 名	「大阪府における高次脳機能障がい及びその関連障がいに対する支援普及事業の取り組みについて」 (大阪府障がい者自立相談支援センター 身体障がい者支援課 課長 今春 泰邦 氏) 「高次脳機能障がいとは」 ～高次脳機能障がいの基礎的な理解と対応～ (り内科診療所 院長 李 利彦 氏)
高次脳機能障がい 支援関係機関職員等研修会 ()	支援関係機関等職員	平成 25 年 12 月 11 日		「高次脳機能障がいの理解」 ～社会的行動障がいを中心に～ 徳島大学大学院 ヘルスバイオサイエンス研究部 教授 白山 靖彦 氏 相談支援事業所からの報告 テーマ「社会的行動障がいのある高次脳機能障がい者の支援について」 特定非営利活動法人堺市相談支援ネットワーク 東区障害者基幹相談支援センター長 京井 彰子 氏 大阪市 相談支援事業所 サラダクラブ コーディネーター 前川 靖子 氏 徳島大学大学院 ヘルスバイオサイエンス研究部 教授 白山 靖彦 氏
高次脳機能障がい 医療関係機関等職員研修会	医療関係機関等職員	平成 25 年 8 月 31 日	293 名 Dr46 名 OT35 名 PT12 名 ST54 名 Ns33 名 MSW46 名 PSW115 名 CW3 名 CP7 名 その他 27 名 講師 2 名 主催者 13 名	1.報告「高次脳機能障がい支援」 ～大阪における取組～ (大阪府障がい者自立相談支援センター 所長 正岡悟氏) 2.講演「高次脳機能障がいの診断と治療－社会行動障がいを中心に－」 (京都大学大学院医学研究科 脳病態生理学講座 (精神医学) 教授 村井 俊哉氏)
高次脳機能障がい 相談支援者養成研修	高次脳機能障がい地域支援ネットワーク協力医療機関職員 (MSW・OT・PT・CP・Ns等) 高次脳機能障がい地域支援ネットワーク地域支援協力機関職員 (相談支援事業所・障がい者支援施設・作業所・就労・生活支援センター等職員) *今回、相談支援専門員は、相談支援従事者研修受講者として第1・2回のみ合同開催する (演習は別開催)	平成 25 年 6 月 3 日	35 名 病院関係 6 名 就労関係 13 名 作業所 13 名 (相談支援専門員 3 名)	1.高次脳機能障がい及びその関連障がいに対する支援普及事業について (大阪府の取り組み 拠点機関の役割と地域との連携 (地域支援ネットワーク) (大阪府障がい者自立相談支援センター 身体障がい者支援課 総括主査 栗村 由喜江) 2.高次脳機能障がいの理解 (基礎) 高次脳機能障がいとは (大阪府立急性期・総合医療センター リハビリテーション科 主任部長 渡邊 学 Dr) 診断基準の経過及び内容 (大阪府立急性期・総合医療センター リハビリテーション科 池埜 弥生 OT) 高次脳機能障がいの診断と評価 (大阪府立急性期・総合医療センター リハビリテーション科 岡部 伸太郎 CP) *グループワークとグループ発表
		平成 25 年 6 月 12 日		1.高次脳機能障がいへの基本的対応 高次脳機能障がいとその基本的対応について (大阪府立障がい者自立センター 竹内 美奈子 OT) 社会的行動障がいへの対応 (大阪府立障がい者自立センター 辻野 琢也 CP) 2.大阪府立障がい者自立センターにおける支援の実践 生活訓練プログラム (大阪府立障がい者自立センター 安部 紫 CP) 生活場面での事例紹介 (大阪府立障がい者自立センター 萩原 摩記 CaW) 地域移行支援の実践 (大阪府障がい者自立センター 小山 智美 CW) 3.就労支援の実践 (クロスジョブ阿倍野 西脇 和美氏) *グループワークとグループ発表

研修会・セミナー名	対象者	開催日	出席者数	講演内容（講演題目及び講演者）
高次脳機能障がい相談支援者養成研修	高次脳機能障がい地域支援ネットワーク協力医療機関職員（MSW・OT・PT・CP・Ns.等） 高次脳機能障がい地域支援ネットワーク地域支援協力機関職員（相談支援事業所・障がい者支援施設・作業所・就労・生活支援センター等職員） *今回、相談支援専門員は、相談支援従事者研修受講者として第1・2回のみ合同開催する（演習は別開催）	平成 25 年 6 月 21 日	35 名 病院関係 6 就労関係 13 名 作業所 13 名 （相談支援専門員 3 名）	社会福祉制度について 大阪府立急性期・総合医療センター 岡本 みどり MSW ・ロールプレイ *グループワークとグループ発表
		平成 25 年 7 月 1 日 ～7 月 5 日のうち 1 日		フィールドワーク（11箇所に分かれて） いきがいワーク 第1ヒューマン 第2ヒューマン 工房ヒューマン（日の出作業所） 羅針盤 第2工房羅針盤 交野自立センター通所部 キッズ枚方コミュニケーションズ 麦の会ラベンダー作業所 すみれ共同作業所 大阪府立障がい者自立センター
		平成 25 年 7 月 10 日		フィールドワークの報告・情報交換会 「当事者・家族からの体験報告」 （東大阪え〜わの会） 「当事者・家族からの体験報告」 （アンダンテ） ・当事者・家族を囲みグループ別交流会 *グループワークとグループ発表
高次脳機能障がい市区町村担当者養成研修	市区町村等担当職員	平成 25 年 10 月 23 日	参加者 18/14 名 体験報告講師 7 名 専門員 3 名 講師 7 名 主催者 9 名	「高次脳機能障がい及びその関連障がいに対する支援普及事業」について ～拠点機関の役割と地域との連携について～（地域支援ネットワーク） （大阪府障がい者自立相談支援センター 身体障がい者支援課総括主査 栗村 由喜江氏） 「大阪府立障がい者自立センターの取組み」 （大阪府立障がい者自立支援センター 自立支援課長 脇田 康夫氏） 「高次脳機能障がいとは」 （大阪府立急性期・総合医療センター リハビリテーション科 主任部長 渡邊 学氏） 高次脳機能障がいの理解（基礎） 診断基準の経過および内容 （大阪府立急性期・総合医療センター リハビリテーション科 OT 池埜 弥生氏） 「高次脳機能障がいの診断と評価」（大阪府立急性期・総合医療センター 心理 岡部 伸太郎氏） 「社会福祉制度について 事例報告（3センター）」 ・（大阪府立急性期・総合医療センター MSW 岡本 みどり氏） ・（大阪府障がい者自立支援センター CW 小山 智美氏） ・（大阪府障がい者自立相談支援センター CW 西野 朋子氏） *グループワークとグループ発表
		平成 25 年 11 月 6 日		ロールプレイの全体説明 ロールプレイ *グループワークとグループ発表 当事者・家族からの報告及び情報交換会 「当事者・家族からの体験報告」 ・（豊中脳損傷家族会「アンダンテ」宮城 秀夫氏） ・（NPO 大阪脳損傷者サポートセンター 石橋 佳世子氏） ・（東大阪え〜わの会 松永 裕介氏・北口 和善氏・立花 勇二氏） ・（八尾のほっと♡ケーキの会 藤崎 千里氏） ・（堺脳損傷協会 藤田 文治氏） 当事者・家族を囲みグループ別交流会 グループ別交流会報告

近畿ブロック 講師派遣状況

研修会・セミナー名	対象者	開催日	出席者数	講演派遣者名及び講演題目
京都府				
障害者就業・生活支援センター「あん」グループワーク支援	当事者・家族	平成 25 年 7 月 16 日	7 名	就業・生活支援センター「あん」グループセミナーについて (京都府高次脳機能障害支援コーディネーター 大戸 淳志)
丹後地域リハビリテーション支援センター主催・平成 25 年度第 1 回事例 検討会	医療・福祉・介護・行政関係者	平成 25 年 7 月 30 日	40 名	「高次脳機能障害及びその関連障害に対する 支援普及事業」 (京都府高次脳機能障害支援コーディネーター 大戸 淳志)
福知山市高次脳機能障害リハビリテーション学習・交流会	医療・福祉・介護・行政関係者	平成 25 年 9 月 1 日	100 名	「高次脳機能障害の理解と対応」 (京都府高次脳機能障害支援コーディネーター 大戸 淳志)
京都市北区内居宅介護（予防）支援事業所連絡会	区内介護支援専門員	平成 25 年 9 月 20 日	40 名	「高次脳機能障害について」 (京都府高次脳機能障害支援コーディネーター 大戸 淳志)
第 2 回中丹圏域障害者自立支援協議会相談支援事業所連絡会議	中丹圏域の相談支援事業所職員	平成 25 年 9 月 27 日	15 名	高次脳機能障害支援について (京都府高次脳機能障害支援コーディネーター 大戸 淳志)
和歌山県				
職員研修	施設職員 (ワークネット)	平成 25 年 5 月 21 日	30 名	「高次脳機能障害の理解と対応」 子ども・女性・障害者相談センター 川崎 美穂
職員研修	施設職員 (ソプラス)	平成 25 年 6 月 4 日	30 名	「高次脳機能障害の理解と対応」 子ども・女性・障害者相談センター 川崎 美穂
作業療法士研修会	作業療法士	平成 25 年 7 月 7 日	50 名	「高次脳機能障害児・者の地域支援」 子ども・女性・障害者相談センター 川崎 美穂
作業療法士研修会	作業療法士	平成 25 年 8 月 6 日	30 名	「高次脳機能障害者の就労支援」 子ども・女性・障害者相談センター 川崎 美穂
職員研修	介護職、行政職員	平成 25 年 10 月 15 日	30 名	「高次脳機能障害の理解と対応」 子ども・女性・障害者相談センター 川崎 美穂
職員研修	介護職、行政職員	平成 25 年 11 月 18 日		「高次脳機能障害の理解と対応」 子ども・女性・障害者相談センター 川崎 美穂
職員研修	介護職、行政職員	平成 25 年 11 月 20 日		「高次脳機能障害の理解と対応」 子ども・女性・障害者相談センター 川崎 美穂
職員研修	介護職、行政職員	平成 25 年 11 月 21 日		「高次脳機能障害の理解と対応」 子ども・女性・障害者相談センター 川崎 美穂
職員研修	介護職、行政職員	平成 25 年 11 月 26 日		「高次脳機能障害の理解と対応」 子ども・女性・障害者相談センター 川崎 美穂
奈良県				
民生児童委員協議会心身障害者 (児) 福祉部研修	民生児童委員	平成 25 年 5 月 27 日	23 名	「高次脳機能障害の支援について」 (奈良高次脳機能障害支援センター 支援コーディネーター 河地 睦美)
橿原市社会福祉協議会主催 ヘルパー定例会	橿原市社会福祉協議会非常勤ヘルパー	平成 25 年 10 月 18 日	約 30 名	「高次脳機能障害について」 (奈良高次脳機能障害支援センター 支援コーディネーター 河地 睦美)
学校法人 青丹学園 関西学研医療福祉学院 講義	学生	平成 25 年 12 月 12 日		「地域における高次脳機能障害支援センターの役割」 (奈良高次脳機能障害支援センター 支援コーディネーター 河地 睦美)

研修会・セミナー名	対象者	開催日	出席者数	講演派遣者名及び講演題目
滋賀県				
高島市自立支援協議会学習会	相談支援従事者	平成 25 年 8 月 ○□	20 名	「高次脳機能障害者の対応について」高次脳機能障害支援センター 田邊 陽子
教育研修事業専門研修「高次脳機能障害コース STEP2」	医療従事者、相談支援従事者	平成 25 年 8 月 25 □	45 名	「社会的行動障害について」高次脳機能障害支援センター 小西川 梨紗
ぽかぽか作業所勉強会	作業所職員	平成 25 年 9 月 ○□	40 名	「高次脳機能障害基礎知識」高次脳機能障害支援センター 田邊 陽子
教育研修事業専門研修「高次脳機能障害コース STEP2」	医療従事者、相談支援従事者	平成 25 年 9 月 ○□	19 名	「社会的行動障害について」高次脳機能障害支援センター 小西川 梨紗
どうぼうの家研修会	作業所職員	平成 25 年 11 月予 定		「高次脳機能障害について」高次脳機能障害支援センター 小西川 梨紗
大阪府				
平成 25 年度第 1 回高次脳機能障害者就労・生活支援ネットワーク会議（富山県）	就労支援事業所、就業・生活支援センターなど就労・生活支援をしている事業所	平成 25 年 7 月 26 日	45 名	「社会的行動障がいのある方への対応と地域移行支援について」（大阪府立障がい者自立センター 自立支援課 辻野 琢也）
大阪府言語聴覚士会 高次脳機能障害分科会 第一回勉強会	大阪府言語聴覚士会会員等	平成 25 年 9 月 10 日	約 50 名	「地域の社会資源について ～就労に向けた支援～」 （大阪府立障がい者自立センター 自立支援課 辻野 琢也） 大阪高次脳機能障がい者就労支援勉強会事務局と共同発表
大阪高次脳リハビリ研究会	高次脳機能障がいを中心とする脳損傷に関わる専門職	平成 25 年 11 月 14 日	約 30 名	「社会的行動障がいのある方への対応と地域移行支援について」（大阪府立障がい者自立センター 自立支援課 辻野 琢也）
貝塚市障害者理解促進事業研修会	貝塚市民・貝塚市職員	平成 26 年 2 月 26 日		「高次脳機能障がいへの理解について」（大阪府障がい者自立相談支援センター 身体障がい者支援課 鈴木 明善）